

平成 27 年度第 4 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「霞ヶ浦の水利用とスダジイ林の植物」を実施しました。

開催日時：平成 27 年 6 月 27 日（土） 9 時 30 分から 15 時 30 分まで

開催場所：桜川市真壁町椎尾 南椎尾調整池～椎尾山薬王院

参加者：33名

今回は筑波山の西北の椎尾山の植物をつくし湖（南椎尾調整池）から椎尾山薬王院まで歩きながら観察して行きました。

つくし湖は霞ヶ浦牛渡の機場から筑波山をトンネルで通って運ばれた水を一時的に貯めておく霞ヶ浦用水の調整池です。一方、椎尾山薬王院は西暦 782 年創建と伝えられる古いお寺です。

今回の講師は、植物の観察会ではおなじみの福田良市先生です。

当日の朝はあいにくの雨模様でしたが、現地に到着して観察会が始まると、ほどなく雨は上がりました。

スタートのつくし湖は標高約 50m、薬王院は約 200m。かなり急な登り坂もありましたが、珍しい植物を見つけたり、福田先生の明快な解説を聞いたりしながらの山登りは、参加者のみなさんもまったく苦にならないようでした。薬王院までの道中は溪流沿いのところもあり、福田先生が御専門にしているシダ植物も多く観察されました。また、珍しいクモキリソウや行きの中でパートナーの腰塚さんから御紹介いただいたふくれみかんの木なども見ることができました。

薬王院に到着、昼食休憩を取り、午後はまず薬王院の副住職さんに薬王院と三重塔の御説明をしていただきました。県内に三重塔は3つしかなく、薬王院の三重塔はその中でも一番大きな三重塔であること。境内にあるスダジイなどの大木は風や火から建物を守るため、昔から切らないようにしていることなどを教えていただきました。社寺林には極相に近い自然林が残っていることが多い理由がよく分かりました。

そのあとはよいよ今回のテーマであるスダジイの林とそこに生える植物を観察しました。今回、スダジイの林を観察するにあたってぜひ観察したい照葉樹を9種、事前に福田先生にあげていただきましたが、そのうちの6種（アリドオシ、イズセンリョウ、ウラジログシ、スダジイ、ナガバジャノヒゲ、ビナンカズラ）を観察することができました。

霞ヶ浦流域の森林面積は約3割と少なく、なかでも人の手のほとんどはらない自然林はごく少ない貴重な存在です。極相に達した自然林はその地域の原植生や植物の自然分布を知る貴重な存在です。椎尾山のスダジイのなかには樹齢500年を超えるものもあるそうです。薬王院から見上げたスダジイの林はその歴史的スケールからくる荘厳な姿をわたしたちの前に見せてくれました。

普段あまり身近に見ることのない自然林を観察することができ、参加者のみなさんの満足度も高かったようでした。

講師の福田先生、植物記録と運営に御協力頂いたパートナーのみなさん、そして参加者のみなさん、大変ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察会の様子と観察した植物の一部を御紹介します。



講師は福田良市先生



クモキリソウです。



ウラジロガシです。



ふくれみかんの農園



スタジイの林を望む。



薬王院の三重塔
観察した植物はおよそ 90 種類でした。